

尾道市立因島南小学校

〒722-2323
尾道市因島土生町1372番地1
電話 0845-25-6767

因島南小は「思考力・判断力・表現力を育む」授業づくりを目指しています。児童が主体的に学び・考えたことを表現するために、児童が課題解決の見通しを持って思考するプロセスを大事にしています。

総合的な学習の時間

第4学年

目指す資質・能力

【知識】【コミュニケーション能力】

「ともに生きる②」

【単元の概要】

1学期には、校内のバリアフリーの課題を発見し、図書やインターネットを使って解決策を調べ、新聞にまとめた。そして、2学期は実際に体験をしたりゲストティーチャーの話を聞いたりすることで、1学期の学習をさらに深めていった。

◆単元の目標

- ・1学期に調べたことをもとに、新しい課題を設定することができる。
- ・体験したり話を聞いたりしたことを整理、活用してまとめることができる。
- ・今後の自分の行動について、学習したことを踏まえて考えることができる。

◆単元の計画（全20時間）

学習過程	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
【課題の設定（2時間）】 ・1学期の学習をもとに、さらに調べたいこと・体験したいこと・話を聞きたいこと等を考え、課題を設定する。	■ 1学期に考えた校内のバリアフリーの課題を踏まえて、自分たちの住む町まで範囲を広げて課題を設定させる。
【情報の収集（4時間）】 ・ゲストティーチャーを招き、高齢者体験・視覚障害者体験・車いす体験を行う。 ・福祉についての話を聞く。	■ 介助をする側とされる側の両方を体験させることで、課題や解決策について多面的に考えさせる。
【整理（3時間）】 ・体験学習を通して分かったことや、さらに話を聞いてみたいこと等を交流する。 ・質問リストを作る。	■ 体験学習の感想を交流させる中で、分かったことと疑問点等について整理させる。 【国語科】 「クラスで話し合おう」の学習を生かして、友達の発言に付け加えたりしながら理解を深めたり、質問リストを作成したりさせる。
【情報の収集（2時間）】 ・ゲストティーチャーの話を聞き、必要な情報についてメモを取る。 ・自分の設定した課題を解決するために質問する。	■ 自分の課題に関わる情報を特にメモしたり、必要な情報が得られなければ質問したりさせる。 【国語科】 1学期の「メモの取り方をくふうして聞こう」で学習した工夫を意識しながらメモを取らせる。
【まとめ・表現（6時間）】 ・体験したことや話を聞いたことの中から、自分の設定した課題について新聞にまとめる。	■ 設定した課題とその解決策について分かりやすく新聞にまとめさせる。 【国語科】 1学期の「みんなで新聞を作ろう」で学習したことを生かし、新聞のレイアウトや見出し、資料の活用の仕方等を考えさせる。
【振り返り（3時間）】 ・ゲストティーチャーにお礼の手紙を書く。 ・2学期の学習内容を振り返り、今後の自分の行動について考える。	■ お礼の手紙やグループ交流の中で、2学期の学習を踏まえた今後の行動について考えさせる。 【国語科】 「お願いやお礼の手紙を書こう」で学習した手紙の構成を考えながらお礼の手紙を書かせる。

その他の主な開発単元★、若しくはブラッシュ・アップした単元

教科	学年	教科単元名
算数	1	「はっさくんバスの おきゃくは なん人？」～たしざんとひきざん～
算数	4	「角」（フォローアップ事業 教材開発）★
算数	5	「掲示板にモザイクアートを作ろう」～倍数と約数～★
総合	3	「因島の特産物 ハッサク」
	5	「つながる人と人、つながる因島」～水軍太鼓にチャレンジ～
	6	「職業について調べよう」

因島南学校「課題発見・解決学習」HP アドレス <http://www.onomichi.ed.jp/mirai.j/>